







きつとみつかる。



HEDWIG AND THE ANGRY INCH

ヘドウィグ・アンド・アングリーインチ

WINNER! SUNDANCE FILM FESTIVAL BEST DIRECTOR+ AUDIENCE AWARD

PRESENTED BY GAGA COMMUNICATIONS × tv TOKYO × AMI242 × TV OSAKA / SUPPORTED BY SPO / SOUNDTRACK BY      
DISTRIBUTED BY GAGA G-CINEMA GROUP ©2001 FINE LINE FEATURES. ALL RIGHTS RESERVED <http://www.gaga.ne.jp/hedwig>

WINNER! SUNDANCE FILM FESTIVAL BEST DIRECTOR + AUDIENCE AWARD

HEDWIG AND THE ANGRY INCH

ヘドウィグ・アンド・アングリーインチ



サンダンス映画祭 最優秀監督賞、最優秀観客賞
全米ナショナル・ボード・オブ・レビュー 最優秀新人監督賞
ベルリン国際映画祭 テディ・ベア賞
サンフランシスコ国際映画祭 最優秀観客賞
シアトル国際映画祭 最優秀主演男優賞
ドービル映画祭 最優秀新人監督賞、最優秀批評家賞、グランプリ賞
ブリティッシュ・インディペンデント映画賞 最優秀外国語映画賞/ミニネート
コーサム賞 オープンアワーズ賞

誰もが、自分の「カタワレ」を探してる…

セレブリティ達を熱狂させたオフ・ブロードウェイ発の傑作ロック・ミュージカル、
ついに映画化!

マドンナは楽曲の権利使用を申し入れ、デヴィッド・ボウイはグラミー賞をすっぽかして観劇。NYのオフ・ブロードウェイで2年半以上に渡るロングランを記録したロック・ミュージカルが、舞台と同じく監督・脚本・主演ジョン・キャメロン・ミッチェルによってついに映画化された。サンダンス映画祭でプレミア上映された本作は、鳴り止まない拍手の中、最優秀監督賞と最優秀観客賞をダブル受賞。その後も数々の賞を受賞し、性も人種も世代の違いも軽々と乗り越え、多くの観客に生きる勇気呼び起こした。本作は、自分の「失われたカタワレ (missing half) 」=「愛」を追い求める無名のロックシンガー、ヘドウィグの数奇な半生を、心揺さぶるグラムロックにのせて贈るロック・ミュージカル。世界をラメ色に塗り替えるグラマラスなポップチューンは、ヘドウィグの孤独な魂の叫び。生半可な「癒し」などこっぴどみに吹き飛ばす圧倒的な喪失感と、愛への渴望を謳い上げるその姿が、胸に切なく突き刺さる。

夢を引き換えに刻まれた、「怒りの1インチ (アングリーインチ) 」。

1960年代後半。旧東ドイツ生まれの少年ヘドウィグは、自由を得て、ロックシンガーになる夢を叶えるため、アメリカ兵との結婚を決意。性転換手術を受けることとなる。しかし、股間には手術ミスで「怒りの1インチ (アングリーインチ) 」が残ってしまう。渡米するも

離婚し、ロックバンドを組むヘドウィグ。やがて青年トミーに出会うが、トミーはヘドウィグのオリジナル曲すべてを盗んでビルボードNo.1のロックスターに登りつめる。裏切られたヘドウィグは自らのバンド「アングリーインチ」を引き連れ、トミーの全米コンサートを追い、大会場の脇のしがらみないレストランを巡業する。果たしてヘドウィグは、自分の魂である歌をとりもどし、探し求めていた「愛」に出会うことができるのか…。

インディペンデント・スピリッツ溢れる製作陣たちの、最高のコラボレーション!

不完全な身体を持つ自分自身と、裏切ったかつての恋人への怒りと哀しみをこめて綴られるオリジナル・ソングは、映画の中でもギタリスト役を演じるスティーブ・トラスクの作詞・作曲。グラミー賞の最優秀演劇音楽賞にノミネートされた他、数多くの栄冠に輝いた名曲を、映画版用に新メンバー (オルタナティブ・ロックの大御所、ポップ・モウルト他) を加えレコーディングした。

ロック・スピリッツ溢れる衣装は、コートニー・ラブ、マドンナのステージ衣装や、「ラリー・プリント」(96)、「17歳のカルテ」(99)を手がけたアリアンヌ・フィリップス。美術監督は「ハビナス」(98)、「ハイ・フィデリティ」(00)のデレズ・ドブレ。撮影監督に「テルミン」(93)のフランク・デマルコを起用。まったくの新人監督であるジョン・キャメロン・ミッチェルに、最高のスタッフ達を集めたのは、「ベルベット・ゴールドマイン」(97)、「ホイース・ドント・クライ」(99)等の野心作を次々に送り出してきた製作会社キラー・フィルムズ。インディペンデント・スピリッツ溢れる最高の製作陣たちによるコラボレーションが実現した。

監督・脚本:ジョン・キャメロン・ミッチェル / 作詞・作曲:スティーブ・トラスク / 製作:キラーフィルムズ 「ベルベット・ゴールドマイン」「ホイース・ドント・クライ」
キャガ・コミュニケーションズXテレビ東京Xニッポン放送Xテレビ大阪 / 協力:エスピーオー / 配給・宣伝:キャガ・コミュニケーションズ Gシネマグループ
サントラCD:カッティングエッジ www.gaga.he.jp/hedwig



2002年春待望のロードショー

特別前売り券 ¥1,500 絶賛発売中 (当日一般1,800)

★SPECIAL前売特典(劇場窓口のみ)★

1枚 お買い上げの方、先着300名様に〈ヘッドステッカー〉

2枚 お買い上げの方、先着200名様に〈非売品シングルCD〉

※前売特典は下記劇場3館の合計数となります。

梅田スカイビル(空中庭園)タワーイースト4F
06
梅田ガーデンシネマ (6440)
5977
www.cineplex.co.jp

九条大宮・近鉄兼光駅 (JR京都駅よりひと駅) 西へ150m
075
京都みなみ会館 (661)
3993
www.rcsmovie.co.jp/minami

大丸東側 神戸朝日ビルB1F
078
シネ・リーブル神戸 (334)
2126
www.nikkatsu.com